

きららかってどんなところ？

伊豆の国市児童発達支援センター「きららか」は、伊豆の国市の指定管理を受け、平成27年4月より社会福祉法人輝望会が運営している児童発達支援センターです。

めざしていること

何らかの原因で発達に遅れやつまずきが見られるお子さんに対して、一人ひとりの発達特性を受けとめ、日常生活に必要な技能やコミュニケーション能力、集団参加への意欲を高め、お子さんの持っている力を引き出していきます。

利用できる子ども

伊豆の国市内に在住の、おおむね2歳から就学前までの年齢で、言葉の遅れや動きが多いなど、発達や行動に気になる様子があるお子さん。市から発行される受給者証が必要です。

スタッフ

保育士、児童指導員、言語聴覚士等

クラス編成

基本的には年少、年中、年長の3クラス編成ですが、年齢だけでなく、発達段階や特性、お子さん同士の相性等も考慮したクラス編成を行っています。

支援の内容

「日中療育」、「午後療育」、「2歳児療育」があります。

○登園日と登園方法

<日中療育>

日時:月～金 9時30分～14時 ※行事の際は、土日もあります。

※土日、祝日、夏季休暇、年末年始は休園します。

通園方法:自宅付近まで送迎車が行きます。

<午後療育>

日時:週に2日(月・水/火・木) 14時30分～16時10分

通園方法:保護者の方に送迎をお願いします。

<2歳児療育>

日時:毎週木曜日 14時30分～16時10分

通園方法:保護者の方に送迎をお願いします。

○日中療育の1日の流れ(例)

9:30～	登園 着替え 室内での自由遊び
10:00～	朝の会
10:10～	個別の活動 小グループ活動 園外活動(週1回) など
11:45～	給食
12:15～	室内での自由遊び
12:50～	午後の活動 外遊び
13:40～	帰りの会
14:00	降園

○活動内容

きららかでは、『健康・生活』、『運動・感覚』、『認知・行動』、『言語・コミュニケーション』、『人間関係・社会性』の5領域を意識した活動を行っています。(活動の内容の詳細は、次のページを参照下さい。)

☆きららかの活動☆

	目的	主な活動	工夫や手立て
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な体と心を育てよう ・生活習慣や生活リズムを形成しよう ・基本的な生活スキルを身に付けよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の健康チェックや身体測定及び定期的な健診の実施 ・食事、排泄、着替え、手洗い、歯磨き 	<p>基本的な生活スキルは、日々の生活の中で繰り返し行うだけでなく、手順書等を用いて、職員と1対1で練習する機会を設定しています。</p>
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・運動機能を高めよう ・手先の巧緻性を高めよう ・様々な感覚を使ってみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭遊び、散歩、サーキット遊び、プール、ボール遊び ・製作、ボタン、食具の練習 ・スライム、粘土、砂・泥遊び、絵具遊び、楽器遊び 	<p>園庭遊びだけでなく、週に一度クラスごとに園バスに乗って近くの公園に遊びに行っています。また、雨の日は、ホールでエアポリン等を使って遊んでいます。</p>
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しが持てる「わかる」環境の中で安心して過ごそう ・色、形、大小、数等の概念を形成しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の設定、スケジュールの使用、視覚的提示 ・ブロック等を用いた遊びや学習、プリント学習 	<p>場所と活動を1対1で対応させ、子ども達がわかりやすい環境作りを行っています。また、子ども一人一人に個別のスケジュールを提示し、見通しが持てるようにしています。</p>
言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の理解力や表現力を高めよう ・コミュニケーションの力を高めよう ・文字に触れよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ、絵カード遊び、クイズ ・ごっこ遊び、絵カードによる遊びの選択 ・カルタ、迷路、線結び 	<p>朝の会や帰りの会では、毎日絵本の読み聞かせや簡単なクイズ等を行っています。また、ごっこ遊びでは、やり取りの台本を視覚的に提示する等の工夫をしています。</p>
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・大人と信頼関係を築こう ・お友達と一緒に遊んだり活動しよう ・簡単な社会的のルールを知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンシップ遊び、職員と1対1での活動 ・集団遊び、ルールのある遊び ・SST(ソーシャルスキルトレーニング) 	<p>集団で活動を行う際は、まずは大人と1対1でその活動を経験してから行うようにします。また、まずは設定された場面で集団遊びや活動を経験し、その後、自由遊びに広げるようにしています。</p>